

令和4年度
独立行政法人国立美術館巡回展

N I M V A O

1	宴の準備	Préparation du banquet (paradeur for a Banquet)	c.1890
2	L.H.O.O.Q.	L.H.O.O.Q.	1919/64
3	イジドール・デュケの謎	Enigme d'Isidore Ducaud (The Enigme of Isidore Ducaud)	1920/71
4	トランクのなかの森	The Bag with a Valise	1936-41
5	箱の中の絵	Bild im Kasten (Picture in a Picture)	1929
6	霧の中の森	Forêt sous la brume (Forest under the mist)	1927
7	箱の中の着の襟 (若いモデルの少女)	Jeune fille à la chemise (Young girl in a blouse)	1924-25
8	横たった裸婦 (赤)	Reclining Nude (Red)	1925
9	デメター	Demeter	1958
10	アグリコラ	Collina Agricola	1954
11	静物	Nature morte (Still Life)	
12	カップが果実か	Coupe ou Fruit (Bowl or Fruit)	1960
13	人質の頭部	Head of a Prisoner	1960
14	踊子	Dancer	1956
15	男	Man	1956
16	ヤナイハラ I	Yanai-hara I (The Sun)	1960-61
17	黒い太陽	Black Sun	1967-69
18	Nun	Nun	1959
19	マグダでの10日の待機	The Collection of The National Museum of Art, Osaka: 100 Years of Contemporary Art	
20	版画集「マリリン」	Portfolio "Marilyn"	1967
21	煉瓦の壁	The Brick Wall	1970
22	空間概念、期待	Concetto spaziale, Attese	1962
23	包まれた缶	Wrapped Cans	1958
24	包まれたライヒスターク (旧ドイツ帝国議会議事堂)、ベルリンのプロジェク	Wrapped Reichstag (Project for Berlin)	1980

国立国際美術館コレクション 現代アート100年

The Collection of The National Museum of Art, Osaka: 100 Years of Contemporary Art

25	無題 #10		
26	無題		
27	無題 (北ホテル)		
28	ネット・アキュムレーション		
29	抗生物質と子音にはさま		
30	コンバクト・オブジェ		
31	MAY 12, 1980, Today (
32	フルクサス 1		
33	ウォーター・ヤム		
34	スペシャル・ボエム No		
35	カラー		
36	バラなしには我々はそれ		
37	直接民主制の為のバラ		
38	恋人たち		
39	抽象絵画 (648-1)		
40	冷却塔		
41	木漏れ日		
42	トロテア		
43	アイルランドの少女たち		
44	フライシュヴァー (自由な		
45	ファイルを持つヒロフミ		
46	無題 (バリオペラハウス)		
47	フランダースの戦士 (絶望		
48	おもちゃの兵隊		
49	赤いシャツとグレーのス		
50	おじいさんと孫娘		
51	教会		
52	The Trees		
53	Automat (3)		
54	Work 85-p-5		
55	傾いた雲		
56	肖像 (ゴッホ)		
57	レゴ		
58	長い長い長い夜	The Longest Night	1995
59	樹を見上げて V	Looking at the Trees V	19
60	死者はきっと到着できま	When the dead be able to arrive with the light (When the dead be able to arrive with the light)	20



W O P R A M

世界に夢中になる方法
冒険、アート！
冒険は蜜の味

2022年6月11日[土]—8月21日[日] | 大分県立美術館 | 1階 展示室A

主催 公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館 | 国立国際美術館 共催 TOSテレビ大分 後援 大分県 | 大分県教育委員会 | 大分県民芸術文化祭実行委員会 | NPO法人大分県芸術 | 大分合同新聞社 | 西日本新聞社 | エフエム大分 | J:COM大分 | ケーブルテレコム | 大分経済新聞 観覧料 一般 1200(1000)円 | 大学・高校生 1000(800)円 ●中学生以下無料 ●(内)は前売りおよび有料入場20名以上の団体料金 | ●大分県芸術文化友の会びび KOTOBUKI無料(同伴者1名半額)、TAKASAGO無料、UME団体料金 | ●障がい者手帳等をご提示の方とその付添者1名は無料 | ●学生の方は入場の際、学生証をご提示ください。 | ●本展覧会中に限り、半券提示でコレクション展を1回無料でご覧いただけます。 ●チケット販売場所 ●大分県立美術館 | ●iichiko総合文化センター 1Fインフォメーション | ●トキハ会館 3Fプレイガイド | ●エトウ南海堂 | ●大分市府内五番街商店街振興組合 ●NPO法人大分県芸術 | ●大分県職員消費生活協同組合 | ●チケットぴあ(セブンイレブ各店)[Pコード:685-972] | ●ローソンチケット(ローソン各店)[Lコード84536]

ヴォルフガング・ティルマンス《フライシュヴァー(自由な泳ぎ手)24》2003 | Wolfgang Tillmans Freischwimmer 24 | © Wolfgang Tillmans Courtesy Wako Works of Art



国立国際美術館コレクション 現代アートの100年 The Collection of The National Museum of Art, Osaka: 100 Years of Contemporary Art

国立国際美術館は、1977年より、国内外の優れた現代美術を発信する美術館として、収集・保管・展示活動を行ってきました。本展は、その名品・優品を国内各地において紹介する巡回展として、広島に続き、大分で開催されます。ポール・セザンヌに始まり、ヴァシリー・カンディンスキーやマルセル・デュシャンらによる抽象絵画や概念芸術の動き、第二次世界大戦後に登場するポップアートや新しい表現様式、さらには多様化する2000年以降のアートまで、大きく変容する100年余りの美術の流れを4つの章で辿ります。独創的な作品の数々は、それぞれの時代における最新の「現代アート」。展示室では時代や地域を越えて、ひとつひとつの個性が私たちの感性を刺激します。今、あなたにとって心に響く作品を見つけることは、あなたらしい美術の楽しみ方の第一歩です。アートを通して世界に夢中になる。本展がそんなきっかけになれば幸いです。



■ ヴァシリー・カンディンスキー《絵の中の絵》1929



■ アルベルト・ジャコメッティ《ヤナイハラ I》1960-61



■ ジュリアン・オピー《ファイルを持つヒロフミ》2005 | © Julian Opie / Courtesy of MAHO KUBOTA GALLERY

【関連イベント】

オープニングイベント

- 「島館長とめぐる現代アートの100年」
- 日時 2022年6月11日[土] 11:00-12:00
- 会場 1階 展示室 A
- 案内人 島 敦彦 (国立国際美術館 館長)
- 定員 30名

ART IN FOCUS

- Vol.1 | トーク&ツアー
「荒川修作の初期作品をめぐる」
- 日時 2022年7月2日[土] 13:30-15:00
- ゲスト 森田恒之 (博物学者・国立民族学博物館 名誉教授)
- 荒川修作《抗生物質と子音にはさまれたアインシュタイン》の修復に関わられた森田恒之先生をお招きし、作品について学んだ後に、一緒に展示室で作品を鑑賞します。
- 会場 2階 アトリエ、1階 展示室 A
- 定員 30名 | ●要観覧券観覧券
- ナビゲーター 榎本寿紀 (大分県立美術館 教育普及室 室長)

- Vol.2 | レクチャー
「現代美術をコレクションする」
- サウンド・インスタレーションやパフォーマンス作品といった多様な形式の現代美術をコレクションすることの意義や、収蔵に至るまでの経緯など、国立国際美術館の舞台裏をお話しいたします。
- 日時 2022年7月23日[土] 13:30-15:00
- 会場 2階 研修室
- 講師 中井康之 (国立国際美術館 研究員)
- 定員 80名

HELLO, ART

- 「ハロー、アート」は現代アートを身近に楽しむためのトークシリーズ。美術以外のジャンルからゲストをお招きしたり、アートブックを使って意見を交わしたり、アートの見方をひらく会です。(各回1時間程度)
- 会場 1階 展示室 A
- 定員 15名程度
- ●要観覧券観覧券 | ●[★]の回は要申込

- 日時 2022年6月18日[土] 18:00- [★]
- ゲスト YonYon
- ソウル生まれ東京育ち福岡在住の音楽クリエイター。音楽を通して日韓の橋渡しをライフワークとし、グローバルに活躍するYonYonさんがオススメの作品を紹介します。

- 日時 2022年6月25日[土] 18:00-
- 担当 木藤野絵 (大分県立美術館 主任学芸員)

- 日時 2022年7月9日[土] 18:00- [★]
- ゲスト 川平大介 (10COFFEEBREWERS代表)
- 博多と大分でカフェを営む川平さん。若者が集まる活気ある場を作り出す川平さんは現代アート通でもある。川平さんとともに、今どきのアートの楽しみ方を共有しよう。

- 日時 2022年7月16日[土] 18:00- [★]
- ゲスト Electronica (加藤亮+児玉順平)
- 竹田市を拠点に制作を行うオレクトロニカの2人とともに、彫刻作品を中心に会場を巡ります。

- 日時 2022年7月30日[土] 18:00-
- 担当 木藤野絵 (大分県立美術館 主任学芸員)

- 以上の申し込み方法 (館長ツアー、ART IN FOCUS、HELLO, ARTに共通)
- 参加ご希望の方は、097-533-4500までお電話、または、app@opam.jpへ[件名]にイベント名[本文]にお名前とご連絡先お電話番号をご記入の上、お申し込み下さい。定員に達し次第締め切りとなります。

ギャラリートーク

- 日時 2022年6月25日[土]、7月16日[土]、8月13日[土] 各日14:00-15:00
- 会場 1階 展示室 A
- 参加費無料 | ●要観覧券観覧券
- 申込み不要・当日参加可

ワークショップ

- つくって夢中★あなたもアーティスト! (7・8月)

- 簡単な作品づくりを体験した後、みんなで展示室に作品をみにいきます! 詳しくは教育普及土曜アトリエのご案内をご確認ください。
- 会場 2階 アトリエ+展示室
- 対象 未就学児および小中学生

OPAMサマースペシャルプログラム

- アトリウム無料展示
スズキユウリ「LOOKS LIKE MUSIC」
- 会期 2022年8月6日[土]-8月21日[日]
- 会場 1階 アトリウム
- ロンドンを拠点に活動するサウンドアーティスト・スズキユウリによる参加型のインスタレーション。紙に線と色を描いてカラーチェイサーというミニカーを走らせると、あなただけの音の世界が生まれます! 子どもから大人まで、気軽に音とアートの出会いをお楽しみください。

- ナイトミュージアム vol.1
dublabb.jp presents "Tonalism"
- 60年代ニューヨークのフルクサス運動や一回性の強いパフォーマンスアート「ハプニング」にインスピレーションを得た視覚芸術と音響芸術の融合をロングセットで楽しむ一夜限りのイベント「Tonalism」が日本初開催。
- 日時 2022年8月6日[土]
- 会場 3階 ホワイエ 他

- ナイトミュージアム vol.2
Lecture & Listening
- 現代アートと現代音楽の交わりについてクロストークの後、関連する音源を高音質オーディオシステムで聴くリスニングセッションを開催します。
- 日時 2022年8月20日[土]
- 会場 1階 アトリウム
- 登壇者 原 雅明 (音楽評論家、dublabb.jp 主宰)
- 橋本 梓 (国立国際美術館 研究員)

- ナイトミュージアム vol.1, 2 ともに出演者・時間帯等、詳細は追って当館HPやSNS、チラシにて公開します。| ● 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、イベントの形式や募集人数等変更が生じる場合がございます。あらかじめご了承ください。